



## 【不登校について】

昨年10月に報道された大変ショックな記事が掲載されました。それは、「小中学校の不登校沖縄で最多更新7432人。小学校では、1000人当たり35.4人で、全国平均を12.4人上回り、全国ワースト1位」というものです。この記事を読まれて、心配された保護者の方も少なくないと思います。今年度も更に増加すると予想され、沖縄県の重要課題となっています。

毎月10日以上休んでいる子と30日以上（不登校）の休みの児童を市教育委員会へ報告しています。連続ではなくても年間累計30日以上は不登校となります。

登校渋り・不登校の原因を追究することは困難で、何らかの誘因によって起こります。症状として多いのが、腹痛・頭痛・吐き気などがあり、週初めの朝や長期休み明けに多く見られます。午後になると元気になるというパターンです。

原因を探そうとしても児童本人にもわからず、困っている児童・保護者もいます。

学校には、教育相談員（火 AM・金 AM）やスクールカウンセラー（金 PM）が配置され、児童及び保護者が相談できる体制を整えています。また、スクールソーシャルワーカー（月 AM・金 PM）は主に家庭支援を業務し、家庭・学校・地域をつなぐ役割を担い、経済的な悩みや不登校、福祉サービスの活用など、支援機関を紹介・調整することができます。ご連絡ください。

ご家庭でお子さんが悩んでいる様子や登校を渋っている様子、体調不良を訴えることが多くなってきたなど、何かしら気になることやお気づきのことがあれば、担任に相談してください。

お子さんのより良い成長のため、一緒に考えていきたいと思っております。遠慮なくご相談ください。

## 登校しぶり・不登校対応

## 《本校の現状》

6月30日現在

- ・10日以上の休み・・・1人
- ・30日以上の休み・・・4人
- ・相談室登校・・・1人
- ・他機関利用・・・1人

(1000人あたりの不登校数)

全国・・・23.0人【R7年度】

沖縄県・・・35.4人【R7年度】

全国割合を本校に換算すると5.5人  
【R8年度】

### 【早期発見の手だて】

- 1.登校の確認【月毎の報告】
- 2.教育相談日・いじめアンケートの実施
- 3.スクリーニングの実施

### 【登校渋り・不登校対応】

- 1.校内支援委員会（月1回）やケース会議（必要に応じて）を実施し、対応を検討する。
- 2.家庭訪問
- 3.保健室登校（他の場所でも対応可）
- 4.学習の保障のため、タブレットを使用してオンライン授業
- 5.教育相談員やスクールカウンセラーとの面談等

※知念小では、状況確認・安否確認のため連続して欠席が3日続いた場合、欠席連絡がある場合も、担任から電話します。但し、出席停止や病気等で原因が明確な場合は電話を控えます。

また、5日以上続いた場合は家庭訪問をしますので、ご理解とご協力をお願いします。

